

県内大学が協働し取り組む『共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト』 ～文部科学省『地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）』に県内から採択～

1. 『地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）』

文部科学省では、平成27年度から『地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）*』を実施している。同事業は、現在問題となっている若年層人口の東京一極集中の解消を図るため、各地方の大学が地方公共団体や企業、民間団体等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を国が支援することで、地方創生の中心となる「ひと」を地方へ集積させることを目的としている。

*COCは“Center of Community”の略。

奈良県では、奈良女子大学の『共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト』が平成27年度の同事業に採択され、奈良工業高等専門学校および奈良県立大学との3校協働により、学卒者の県内就職者数増加等の目標に向けて、教育改革や就職支援改革等に取り組んでいる。

2. 『共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト』の内容

（1）事業目標（事業期間は平成27年度～平成31年度）

「奈良県の地方創生に寄与する人材の育成」と「奈良県の地方創生に寄与する人材の活躍環境の整備」が同プロジェクトの事業目標。これらの目標を達成するため、「教育改革の実施」と「就職支援改革の実施」が取組みの柱となっている。

（2）具体的な取組み

①教育改革の実施 ～「地域志向型教育」の推進～

教育環境に優れた奈良で学ぶことにより、奈良の課題を発見し解決できる人材、また奈良の魅力を発信できる人材を育成することが、この教育改

革の基本である。そのために、地域と学校の連携・協働のもと、地域全体で学び合い未来を担う若者の育成を進める。

従前より重視してきた「奈良で学ぶこと」を、より広く、より深く教育として提供していく必要があり、そのために以下の科目を新たに設置する。

●「地方創生理解科目」

奈良を知り、関心を持たせるための科目で、全学生に広く受講を推奨する。代表的な科目として「なら学」をリレー講義形式で開講し、奈良への多面的な知的関心を養い、奈良についていろいろな角度から学問的に考える能力を養う。

●「プロジェクト科目」

自治体と協力しながら、地域の課題解決に取り組むPBL（Project-Based Learning）型科目として、内容の濃い実践的な教育を行う。代表的な科目として「奈良の木造形実習」を新規開講。この科目は奈良県の奈良の木ブランド課と連携し、十津川村での林業体験、製材所見学などを行いながら、木工デザインを実践するもので、奈良県の伝統産業である林業について学生に考察させる契機とする。



「奈良の木造形実習」で鉋掛けの実習に取り組む奈良女子大学の学生（木は十津川村産木材を使用）

●「地域志向科目」

地域科目群として全学部の学生が履修して卒業する教育カリキュラムを開講。この科目を通じて「奈良で学ぶことを通じてあなたは世界にどんな貢献ができますか？」という問いを学生に投げかけ、奈良や地域に対する志向性を高めていく。

②就職支援改革の実施

平成 26 年度から平成 31 年度にかけて卒業生の奈良県内就職率を 10% アップ（参加 3 校合計で県内就職者数 45 名→94 名、うち奈良女子大学で 30 名→62 名）させるという数値目標を掲げている。そのために、学生への県内企業に関する情報発信の強化、学生と県内企業との交流の機会の強化を図る。主な取り組みは以下の通り。

●奈良県内企業パンフレットゾーンの開設

県内企業より提供された会社案内・パンフレット等をキャリア・サポート・ルームの一角に集約し、学生に奈良県内企業の情報を積極的に発信する（会社案内・パンフレット類は随時募集中）。

●奈良県内企業限定参加による就職説明会

奈良県内企業と、県内に就職を希望する学生、県内就職を視野に入れている学生との交流の場として位置づけ。平成 28 年度より新規に実施する事業であり、実施予定が固まり次第広報される。

●奈良県内でのインターンシップ実施

インターンシップ参加者数については、平成 26 年度から平成 31 年度にかけて累計 380 名（参加 3 校の合計数、うち奈良女子大学で 191 名）とする数値目標を掲げている。そのために、奈良県大学連合インターンシップ制度、滋京奈地域人材育成協議会主催の「社風発見インターンシップ」、各学部開講インターンシップ関連講義を通じて、県内企業へのインターンシップ参加を進める。これは学生が奈良県内企業を知る好機ともなるため、企業に対し広く受け入れ協力を依頼している。

(3)「やまと共創郷育センター」の設置

やまと共創郷育センターは、本プロジェクトの採択を契機に奈良女子大学内に設立された組織で、「大学と奈良県内の自治体、企業が連携して、地域を志向した教育並びに社会貢献を推進し、地域の活性化、地域が求める課題解決に資する人材の育成を推進すること」を目的としている。今後は同センターが中心となって総括し、全学的に県内の課題解決に取り組むことになる。

同センター設立を機に、これまで以上に地域との連携を深め、地域に貢献できる人材の育成、地域の課題解決に取り組む方針である。

3. 奈良県の地方創生に向けて

奈良県内への就職者の増加だけが本プロジェクトの目的ではない。奈良が好き、奈良に興味がある、という学生を一人でも多く育て社会に送り出すことで、大学としての地方創生への貢献（Uターン・Iターン者の増加、奈良をPR してくれる人材の増加等）につなげることが大きな目標である。

そのためには、単に学生に知識を与え経験を積ませるだけではなく、学生の心を動かす仕掛けが必要であり、多くの県内企業や自治体、地域住民の理解と協力が求められる。（吉村謙一）



『共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト』の概要図